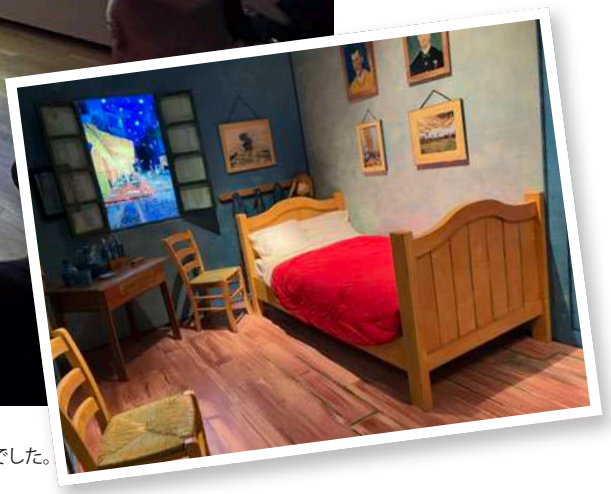
Contents

・【報　告】特別展『親愛なる友 フィンセント～動くゴッホ展』
特別展『第５０回全国高等学校総合文化祭
あきた総文２０２６』
・【開催中】特別展『隙あらば猫　町田尚子絵本原画展』
・【報　告】コレクション展第1期
・【開催中】コレクション展第2期
・【報　告】ふれんどりーギャラリー
・【報　告】出前美術展in能代エナジアムパーク

秋田県立近代美術館ニュース
［アーク］
ARK No.92
2026.4-9



◀開会式の様子。
ネオスペース代表取締役・樋口光仁さんによる特別なギャラリーツアーを行いました。



可愛らしいアルルの寝室の実物大立体模型も好評でした。

特別展
報告

親愛なる友フィンセント 動くゴッホ展

本展（制作：ネオスペース）は、フィンセント・ファン・ゴッホの芸術世界を体感的に楽しめる全国巡回展です。デジタルアートスタジオ〈ＭＤＫ〉がゴッホの作品と手紙をもとに制作した巨大な「動く絵画」を中心に、《アルルの寝室》の立体模型、世界中に散らばるゴッホの油彩作品８６０点を集めたアーカイブホール、シアターなども設置され、多彩な内容でお客様にご好評をいただきました。

担当者としては、ゴッホの心を映し出すような風景の「動く絵画」が特に印象的でした。後世の創造力を触発する優れた作家や名作、それらに挑む次世代の存在は、これからも新たな創造のリレーを作り出してゆくのでしょう。どちらも見ることができるのは、後世に生まれた鑑賞者ならではの楽しみかもしれませんね。

（担当：鈴木・保泉）



【会期】
2026年4月18日（土）～
7月20日（月・祝）



◀床面にも広がるゴッホの世界（イマーシブ・アート空間）。

特別展
報告

第50回全国高等学校総合文化祭
あきた総文2026



▲高校生たちも同世代の感性に触れ、大きな刺激を受けたようでした。

「文化部のインターハイ」とも呼ばれる全国高等学校総合文化祭（総文祭）が、45年ぶりに秋田の地で開催されました。47都道府県が毎年持ち回りで担当し、今回は1981（昭和56）年以来2度目で第50回という節目に当たります。美術・工芸部門の主会場は横手市で、作品の展示場所は当館、イベント・交流会の会場はふるさと村第2駐車場向かいに新たに開館したIRISOアリーナ横手です。開催にあたっては、県内各高校の美術教員と美術部生徒が実行委員をつとめ、展示のレイアウトや飾り付け、開会式や交流会の計画・準備などを2年近くかけて進めてきました。

当館にとっても、5・6階のみならず、ふれんどりーギャラリーや中央ホール、廊下まで展示場所となった過去最大規模の展示空間でした。開催期間は短かったものの、全国から集まった400人を超える代表生徒たちが展示会場で互いの作品を解説・鑑賞しあったり、持ち寄ったWAROCK（絵を描いた石）を交換したりする様子は微笑ましく新鮮で、次代のアートを担う高校生たちの大きな可能性を感じられた5日間でした。

（担当：木村・藤井・斉藤・押野）



【会期】
2026年7月27日（月）～
31日（金）



▶展示室だけでなく、館内全体が展示空間となり、見応えある展覧会となりました。

特別展
開催中

隙あらば猫　町田尚子画本原画展

【会期】2026年8月8日（土）～10月4日（日）



◀かわいい猫たちのパネルが館内各所に♪

▼読み聞かせ会の様子



画家・絵本作家として知られる町田尚子さんの展覧会を開催しました。『ネコヅメのよる』や『なまえのないねこ』、『いるの　いないの』といった代表作品の原画をはじめとして、秋田での開催を記念して新たに制作した4点のご当地作品も展示しました。絵本を読んだことのあるファンの方々にとっても、制作のためにご本人が撮影された写真やアイディアスケッチ、描き直して没になった原画などは珍しく、非常に興味深い内容となったことでしょう。

また、期間中には町田尚子さんご本人によるサイン会、AABアナウンサー出口真唯さんによる絵本の読み聞かせ会、「隙あらばウチの猫！我が家の猫自慢写真展」などを開催し、大勢の方にお楽しみいただきました。町田さんと言えば猫、という印象を持たれている方も多いと思いますが、妖怪や怪談をテーマにした絵や、場面の雰囲気や質感を表すために拘り続けている描写など、原画展ならではの近い距離で細部までご覧いただくことができたので、猫好きの方以外にも十分に満足していただけたことと思います。

（担当：木村、斉藤、押野）



◀第4展示室の絵本コーナー

会期中の水曜日は
「おしゃべり鑑賞デー」
会話をしながら展覧会をお楽しみいただけます。



コレクション展

報告

〈第1期〉絵画に息づく物語



▲担当学芸員によるギャラリートーク

今回は当館のコレクションの中から、「日本武尊（やまとたけるのみこと）」や「祐天上人（ゆうてんしょうにん）」といった歴史に出てくる人物の逸話を題材にした作品や、「知音」、「蘭亭曲水」などの中国の故事にまつわる作品などを中心にご紹介しました。また、秋田県小坂町出身の日本画家・福田豊四郎（1904－1970）が昭和30年代に描いた『氷点』『あした来る人』といった新聞連載小説の挿絵や、有名な昔話『鶴の恩返し』の元ネタとして知られる絵本『夕鶴』の挿絵原画なども展示し、各々が取り上げた「物語」のテーマをどのように作品化していったのかについて、その多様性を存分にお楽しみいただく機会となりました。

（担当：木村）



【会期】
2026年4月24日（金）～
7月12日（日）

▶日本武尊を描いた作品
平福百穂《武尊誅梟帥図》

開催中

〈第2期〉みんなのMuseumプロジェクト企画『みる』をあじわう

【会期】2026年8月14日（金）～11月1日（日）

「みんなのMuseumプロジェクト」では、年齢や障害の有無にかかわらず、誰もがアートを楽しめる環境づくりを進めてきました。

本展は、触覚的アプローチや博物館資料との併置、対話を通じた鑑賞会など、多様な視点に触れながら当館コレクションの新たな魅力に出会う試みです。作品を「みる」ことをあらためてあじわい、自らの感覚を広げながら新たな見方を深める体験をお届けします。

多様な視点が交わることで世界の見え方は広がり、自分の感じ方もまた世界を形作る大切な一つであると気づかされます。誰もが安心して表現と向き合い、心豊かな発見を得られる鑑賞空間をお楽しみください。

（担当：北島）

▼焼き締められた粘土の質感を味わう資料。やさしく触ることができます。





◀認知症の方との対話による鑑賞会



次回展示予告

コレクション展第3期『桃源郷を探して』
【会期】2026年11月6日（金）～2027年1月31日（日）

出前美術展報告

令和8年度 出前美術展 in 能代エナジアムパーク
「みて さわって たのしむ ～ちょうこく展～」

【会期】2026年8月19日（水）～9月5日（土）

キンビ（キンダイビジュツカン）の作品展を、能代火力発電所構内にある「能代エナジアムパーク」で開催しました。「遠方のみなさんにもキンビ作品を気軽に楽しんでもらいたい」という思いから平成24年にスタートしたこの出前美術展は、今年で14回目となります。

今回のテーマは「やさしくさわって楽しめる彫刻」。人気のゴリラさん《天空伝説「来訪者」》や、小さなヤギさんがかわいい作品《楕円生活》、「たつこ像」の作者・船越保武さんによる女性の頭像《ANN》など、全12点をお楽しみいただきました。また、アーチ型の板を積み重ねたり、丸い棒とU字型の板とを組み合わせたりして遊ぶ「木のおもちゃ」も大好評、みなさん色々な形を作って楽しんでいました。

（担当：藤井、秋田）



朝倉文夫
《よく獲たり》



展示報告 ふれんどりーギャラリー

『佐藤悟　日本画展』

【会期】2026年4月23日(木)～6月1日(月)



日本画教室「静物を描く」の講師・佐藤悟さんの展覧会を開催しました。佐藤さんは日本美術院展覧会（院展）で奨励賞を受賞し、現在は日本美術院特待、院展秋田会会長、秋田県美術展覧会専門委員を務めるなど、県内外で活躍されている日本画家です。

今回の展覧会では、春の院展出品作「雨銀河」を始め、取材に出向いた中国やヨーロッパの風景や人物、また自宅付近の見慣れた風景などを描いた作品11点を展示していただきました。佐藤さんの作品が生み出す優しく温かな空間が、鑑賞者の皆さんの心を癒やしてくれた展示となりました。



（担当：保泉、斉藤）

2026年下半期実施予定事業一覧

特別展	「原安三郎コレクション　北斎×広重」……10/10～12/6 「生誕160年　寺崎廣業展」……12/12～2027/2/14
企画展	「美術館の眼Ⅸ～新収蔵品展」……2027/2/21～4/11
コレクション展	第3期「桃源郷を探して」……11/6～2027/1/31 第4期「雪しんしん―雪景余情」……2027/2/5～4/25
館外展示	ネットワーク展示（県立図書館との協働展示） 「アートの小宇宙（ミクロコスモス）」…12/10～2027/1/19
美術館教室 （中学生以上一般）	「植物と動物から青色をつくって描く」……10/24 講師：永沢碧衣さん（絵画作家）
みんなの教室 （小学生以上一般）	「保呂羽山からのおくりもの2」……11/21 講師：当館学芸主事
きっずあーと	「いろとかたちのゆうえんち」……12月頃 講師：当館学芸主事
特任館長講座	「江戸時代の美術と文化Ⅴ　浮世絵を楽しむ」 ……10/24、11/21、12/12

Report

上半期実施教室・講座一覧

◇美術館教室

日本画教室……5/16、17
講師：佐藤 悟さん（日本画家）

和紙人形作り教室（和紙で作ろう 私のおひなさま）…9/20
講師：草薙 郷子さん（創作和紙人形作家）

◇みんなの教室

木の工作教室（木でつくる からくりボックス3）……8/9

秋田県立近代美術館
AKITA MUSEUM OF MODERN ART
〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46（秋田ふるさと村内）
TEL：0182-33-8855　E-mail：akitamma@rnac.ne.jp

ホームページは
「秋田県立近代美術館」で検索！
X（旧Twitter）、facebookもご覧ください。

交通案内
お車で｜秋田自動車道・横手インターより3分
バスで｜横手バスターミナル(JR横手駅東口)
～ふるさと村15分

秋田県立近代美術館ニュースARK92号（2026年上半期）　編集・発行／秋田県立近代美術館　2026年9月30日発行